

ちょう

りゅう

# 跳龍



令和5年  
5月号

曹洞宗大本山總持寺



## 大遠忌に向けて角塔婆を建立

登山禪師七〇〇回大遠忌の角塔婆を、三月三十一日に大祖堂前に建立いたしました。昨年十一月に奈良県吉野郡黒瀧村で奉伐された推定樹齢二五〇年の吉野杉の巨木は、その後、滋賀県で製材され、さらに長野県で十二メートルの角塔婆に加工され、三月末に書家である中川光憲氏（元鶴見大学附属中・高校長）に浄書していただきました。

なお、点眼法要は四月四日に石附周行禪師さまの御親修により営みました。



## 大遠忌の新看板と幟を設置



令和六年四月一日より奉修いたします「太祖登山禪師七〇〇回大遠忌」の本法要に向け、参道入口や香積台前には新たな看板を、さらに山内に幟一〇〇本を設置いたしました。参道を行き交う学生や地域の人々、山内を行き交う参拝者の方々も、興味深げに幟をご覧になっています。



總持寺文化財紹介「禪苑の文華」(二) 英照皇太后遺愛の海賦詩硯箱

監修 宝蔵館編々庵館長  
鶴見大学名誉教授 高田 信敬

